

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助		
導入	○小学校4年生社会科の「上水道」や「下水道」の学習を思い出してみよう。もしもこれらがなくなってしまうたら今の生活はどうなるだろう。 ・食事をしたり、風呂に入ったりできなくなる。 ・害虫や病原菌が増えて、感染症だらけになる。	・小学校4年生社会科「住みよいくらし」の「上水道」や「下水道」の学習を想起しながら、自分たちのまちの健康で住みよいくらしを支えている仕組みや人々について触れる。		
展開 前 段	◇資料提示をし、範読する。 ◇感想を交流する。 ・岐阜市の水道やトイレが当たり前のように使えるのは、松尾国松さんのおかげなんて知らなかった。 ・国松さんのように、みんなから反対されてでも多くの人たちのためにやり通すなんてすごい。 ○上水道建設計画では、市民の4分の3が反対をした時、松尾国松はどんな気持ちだっただろう。 ・きっと分かってもらえると思ったのに。 ・どうしてみんなのためにやろうとしていることが分かってもらえないんだ。 ・どんなに多くの市民に反対されても、困っている市民のためにやらなければならない。 ○下水道建設では、さらに様々な困難にぶつかったが、このような状況に置かれた時、自分ならどうするだろうか。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 〈やり抜く〉 ・やると決めたことは、多少の困難があってもやらなければならない。 ・公約として掲げた以上は、役割としての責任をもってやらなければいけない。 ・自分の都合だけで判断するのではなく、少数であっても困っている人の立場になってやらなければならない。 </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 〈やめてしまう〉 ・多くの人に反対されているのに押し通すのは、単なるわがままだと思われてしまう。 ・一緒に生活している以上は、身近な人に嫌われるようなことはできない。 ・自分にはやらなければいけないことが他にある。他人のことまで考えている余裕はない。 </td> </tr> </table>	〈やり抜く〉 ・やると決めたことは、多少の困難があってもやらなければならない。 ・公約として掲げた以上は、役割としての責任をもってやらなければいけない。 ・自分の都合だけで判断するのではなく、少数であっても困っている人の立場になってやらなければならない。	〈やめてしまう〉 ・多くの人に反対されているのに押し通すのは、単なるわがままだと思われてしまう。 ・一緒に生活している以上は、身近な人に嫌われるようなことはできない。 ・自分にはやらなければいけないことが他にある。他人のことまで考えている余裕はない。	・松尾国松の略歴を紹介し、その生き方について考えることを確認する。 ・率直な感想を交流し、国松の偉業に触れ、主人公の生き方について焦点を当てて考えていくことを確認する。 ・自分は正しいことをやっていると感じていても、多くの市民から反対されたら悩んでしまう気持ちに共感できるようにする。(人間理解) ・市長として、市民のために尽力をすることは当然であるという国松の使命感の強さに気付くことができるようにする。 ・自分ならどうするかという行為のみの話し合いにならないよう、考えた際の気持ちや理由を話し合えるように配慮する。 ・心の弱さが捉えにくい場合は、「反対されてもやろうと簡単に思えるだろうか」や、以下3点のように、自分との関わりで考えるように問い返すことで、やらなければならない気持ちと諦めてしまいそうになる気持ちの葛藤に気付くことができるようにする。 ①「多くの市民からの強い反対」 →「活動の呼びかけに全校や学級の多くの仲間から反対されたらどうだろう。」 ②「政府からの補助金の打ち切り」 →「近い仲間からも協力を得られなくなったらどうだろう。」 ③「戦争による物資不足」 →「他の問題が起きて物理的に活動ができなくなってしまったらどうだろう。」
	〈やり抜く〉 ・やると決めたことは、多少の困難があってもやらなければならない。 ・公約として掲げた以上は、役割としての責任をもってやらなければいけない。 ・自分の都合だけで判断するのではなく、少数であっても困っている人の立場になってやらなければならない。	〈やめてしまう〉 ・多くの人に反対されているのに押し通すのは、単なるわがままだと思われてしまう。 ・一緒に生活している以上は、身近な人に嫌われるようなことはできない。 ・自分にはやらなければいけないことが他にある。他人のことまで考えている余裕はない。		
◎様々な困難にも負けないで、国松が下水道建設事業を成し遂げたのはどうしてだろう。 ・市長としてこの事業をやり遂げる責任がある。 ・粘り強く取り組み、きっと認められる。 ・多くの市民からの反対、政府からの補助金の打ち切り等、どんなにつらい状況であっても、苦しんでいる市民がいる以上諦めることはできない。 ・私はこの故郷で育てられた。この事業はこれから先に生まれてくる多くの小さな子どもの命を救うことにつながる。将来の岐阜市の発展のためにやり遂げなければならない。	【深めの発問】 ★この事業をやらなくても、自分は困らないのに、どうしてやらなければならないと考え、行動したのだろうか。 ・国松には、市長として岐阜市の発展を願うと同時に、郷土を思う深い愛の心があったことに気付くことができるようにする。 ・先人たちの偉業のおかげで、今の豊かな生活があり、先人への感謝と尊敬の念をもてるようにする。			
展開 後 段	○地域社会をよりよくするために、自分にできることについて考えをまとめてみよう。 ・水道や水洗トイレがある生活をなんとも思っていなかったけれど、国松さんのおかげで今の生活ができることに感謝したい。しかし、災害がおきたらこの生活は当たり前ではない。だからこそ、日頃から地域の人に自分から関わり、地域のことをもっとよく知り、自分にできることを考えやっていきたい。	・今までの自分の姿を見つめ、松尾国松の生き方から「郷土の発展」について学んだことを明らかにし、郷土を愛する心をもつとともに、これからの自分の生き方について考えることができるようにする。		
終末	○身近な地域の自然や人々の暮らしを豊かにすることに励んでみえる方を招き、お話をさせていただく。	<変容の見届け> ・「これまで自分は当たり前のように生活してきたけれど、先人の地域に対する心とよりよい生活にしようとする努力によって今の生活があることが分かった。今の地域の課題を見つめながら、自分も地域の一員としてできることをやっていきたい。」などと自分を見つめ、郷土の発展のために前向きに歩もうとする気持ちをもっている。		